2026年11月10日

各 位

会 社 名　ソ ー ス ネ ク ス ト 株 式 会 社
代 表 者　代表取締役社長 兼 CEO　松 田 憲 幸
（コード番号　4344　東証プライム）
問合せ先　取 締 役　兼　C F O　青 山 文 彦
電話番号　0 3 － 5 7 9 7 － 7 1 6 5

連結子会社であるポケトーク株式会社による 世界最高水準注1の「オフライン翻訳エンジン」 独自開発に関するお知らせ

ソースネクスト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：松田　憲幸）は、当社の連結子会社であるポケトーク株式会社（本社：東京都中央区、取締役 代表執行役社長 兼 CEO：松田　憲幸。以下、ポケトーク社）が、世界最高水準の「オフライン翻訳エンジン」を独自開発いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

注1：2026年11月時点。COMET注2を用いて、一般消費者向けに提供される世界最高水準の翻訳エンジンと比較した結果に基づきます。
注2：COMETは、原文と翻訳結果、人手による参照訳をもとに、機械翻訳の品質を数値化する評価指標です。スコアは0～1で、高いほど高評価となります。

記

1.概要

ポケトーク社は、2017 年の翻訳端末発売以来、外国語コミュニケーションの課題を解決する製品・サービスを世界各地で提供し、さまざまな言語、利用環境、会話シーンにおいて求められる翻訳品質やユーザビリティに関する知見を蓄積してまいりました。こうした知見を生かし、翻訳エンジンの企画、仕様策定、開発、評価に主体的に関わり、その開発成果物を自社の技術資産として保有する「オフライン翻訳エンジン」を開発いたしました注3。これにより、同社は翻訳端末やサービスの企画・提供に加え、その中核となる言語 AI 技術を事業資産として、新たな製品・サービスや事業へ展開することが可能となります。

注3：本エンジンは、ポケトーク社が企画・仕様の決定・開発の指示・評価を行ない、同社の委託を受けた開発パートナーが、Google が公開するオープンモデル「TranslateGemma」をベースに開発したものです。契約上、開発成果物に関する権利はポケトーク社に帰属しています。

2.本エンジンの特徴

(1)オフラインでの動作

本エンジンは、インターネットや外部クラウドへの接続を必要とせず、翻訳処理をローカル環境で完結いたします。通信環境に左右されないため、ネットワーク接続が不安定な場所や、外部ネットワークの利用が制限される環境でも利用できます。また、翻訳に用いるデータを外部クラウドへ送信しないため、個人情報、医療情報、金融情報、社内機密情報などを取り扱い、情報セキュリティやデータ管理に高い要件が求められる企業・団体においても導入しやすい設計となっております。

(2)高い翻訳品質

通信を遮断したオフライン環境において、主要言語から日本語へのテキスト翻訳の品質を評価した結果、機械翻訳の品質を評価する指標の一つである「COMET」において、英語（米国）及び中国語（繁体字）で 0.91、中国語（簡体字）及び韓国語で 0.90、ベトナム語で 0.89 を記録いたしました注4。こちらの評価結果は、世界最高の水準を誇っております。

注4：2026 年 11 月、ポケトーク社調べ。評価データには、Meta 社が公開する多言語翻訳の評価用データセット「FLORES-200」から、比較的難易度の高い文を各翻訳方向につき 30 文選定して使用しました。PC 上でポケトーク社の SDK（モデルパッケージ 2026.10.2）を使用し、通信を遮断した状態でテキスト翻訳を実施し、原文、翻訳結果、参照訳をもとに COMET（Unbabel/wmt22-comet-da）で評価しました。スコアは各翻訳方向 30 文の平均値を、小数点第3位で四捨五入したものです。本評価はテキスト翻訳の品質を評価したものであり、音声認識を含む音声翻訳全体の精度を示すものではありません。

3.今後の展開

ポケトーク社は今後、需要の高いアジア圏の言語を中心に対応言語の拡充を進める予定です。さらに、同社が今後提供を予定しているオフライン AI 同時翻訳製品への搭載や、法人向けシステム及び各種デバイスへの組み込み、外部パートナーとの技術連携など、本技術を起点とした新たな事業展開を検討してまいります。また、医療、公共、金融をはじめ、高い情報管理が求められる分野での活用も見込んでおります。

ポケトーク株式会社は、「言葉の壁をなくす」をミッションに掲げ、これまで翻訳端末やサービスを通じて外国語コミュニケーションの課題解決に取り組んできました。今後は、そこで培ってきた知見と自社の言語 AI 技術を組み合わせて、製品やサービスの枠を超えた言語 AI 技術を核とした事業領域へと展開を広げてまいります。

以上